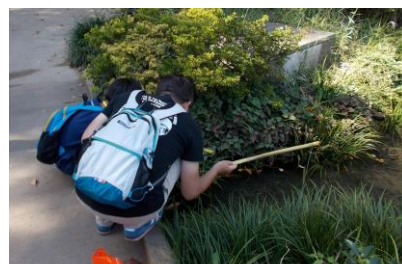


第5章 各課の環境学習・啓発活動等一覧

※**協働**…ひとつの事業目標を達成するために、市民活動団体と市が情報を共有し、信頼関係のもとに責任を果たし、成果をあげること。（対象：共催、実行委員会、意見交換等）

●まちづくり計画課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
協働 環境ひろば	毎月の第3日曜日 (原則)	市民・事業者・市が一堂に会し、環境をテーマに意見交換を行う場として年11回(3月は新型コロナウイルス感染症対策のため中止)開催するとともに、イベントでの啓発活動、環境シンポジウムを開催しました。
環境家計簿モニター 制度	期間： 7月～9月(夏期) 12月～2月(冬期) 参加世帯41世帯	家庭の電気・ガスの使用量を把握することで、省エネ意識の向上を高め、地球温暖化防止を目的として、実施しました。市報によりモニターを募集し、夏期と冬期に分けて電気・ガスの使用量から算出した温室効果ガス排出量の前年比増減と、エコライフ(省エネルギー生活)の取組の報告を受けました。
協働 国分寺市環境シンポジウム	2月8日 参加者100人	環境ひろばと協働して、2月に環境に関する講演会を実施しました。 国分寺市制施行55周年記念 第15回国分寺市環境シンポジウム テーマ：緑あふれるまちを目指して ～都市農地の保全・活用～ ・基調講演「緑あふれるまちを目指して ～農業振興による 環境の保全について～」 講師：渡辺 誠 氏(東京農工大学准教授) ・取組事例紹介「一番近い畑から 一番おいしい野菜を ～国分寺中村農園の挑戦～」 講師：中村 克之 氏(国分寺中村農園) ・フロアディスカッション ・国分寺市の環境団体の紹介
環境情報ライブラリー	図書・資料の閲覧	環境白書(令和元年度版)1冊を購入し、配架しました。
姿見の池アメリカザリガニ捕獲大作戦	9月15日 参加者 40人 10月5日 参加者 40人	市内姿見の池とその接続した水路において、市内在住の小学生とその保護者を対象に外来種駆除と生きものへの関心を高めることを目的としたイベントを開催し、9月15日に48匹、10月5日に35匹のアメリカザリガニを捕獲しました。また国分寺市環境アドバイザーの林鷹央氏を講師に招き、アメリカザリガニの生態や姿見の池に生息する水生生物について学びました。



姿見の池アメリカザリガニ捕獲大作戦の様子

●緑と建築課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
【協働】 エックス山等緑地 保全事業	毎月第2・3・4金 曜日作業 毎年1・4・7・10 月第2金曜日会議	エックス山等市民協議会と協働して、四半期ごとに1回意見交換を行うとともに、毎月3回（ただし会議日を除く）西恋ヶ窪緑地において維持管理作業を実施しました。定例作業のほか、樹木更新を実施するため、11月から2月までの間週3回活動しました。
【協働】 砂川用水路維持管理 事業	毎月第1月曜日 毎月第2・4土曜日 定例作業	美しい用水の会と協働し、毎月3回の定例作業として、砂川用水のより良い環境維持を目的に、水路ののり面の除草やごみ揚げ清掃、樹木剪定などを実施しました。
【協働】 姿見の池周辺維持管 理事業	毎月1・4日曜日定 例作業	緑と自然を育てる会と協働して、姿見の池周辺緑地において、良好な環境保全を目的に水路ののり面の除草、清掃及び草花等の補植・管理を実施しました。
バードウォッチング	5月21日雨天中止 11月20日 参加者 39人	野川の水源と貴重な森林が残る（株）日立中央研究所で秋の樹木と鳥の観察をしました。
夏休み子ども自然教 室	【植物編】 7月31日 参加者 13人 【昆虫編】 8月14日・15日 延べ71人参加	【植物編】 植物に関する講座を行い、西恋ヶ窪緑地を探索しながらクイズなどをしました。 【昆虫編】 西恋ヶ窪緑地を探検して、せみの抜け殻を探したり、昆虫を採集しスケッチをしたりしました。
湧水源周辺散策	11月4日 参加者 43人	（一財）小林理学研究所の協力で公開される所内の湧水源と国分寺崖線（はげ）、お鷹の道や真姿の池湧水群周辺、都立殿ヶ谷戸庭園など、武蔵野の面影を残す湧水や水路を散策しました。
エコミュージアム	11月26日 参加者 24人	市内を博物館に見立て、何気なく目にしている自然や生活環境を、歴史や文化・伝統に根ざした視点から、散策しました。国分寺崖線にはじまり、（公財）鉄道総合技術研究所、平兵衛樹林地、富士本90度公園などに行きました。



バードウォッチング
（日立中央研究所内を散策中）



市の花 さつき



湧水源周辺散策
（おたかの道湧水園内を散策中）

●まちづくり推進課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
まちのデザインセンター	まちづくりライブラリー	図書・資料の閲覧
		まちづくり図書の閲覧を行いました。

●経 済 課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
市民農業大学	受講生 15 人 (うち修了生 15 人)	農業者が講師となって、市民が農作物の播種・定植から除草等の圃場管理・収穫まで一連の農作業を体験することにより、農業者と市民の相互理解を促進し、農業とふれ合う市民のすそ野を拡大しました。
援農ボランティア推進事業	市民農業大学で「援農ボランティア技術習得講座」を実施	市民農業大学受講生を対象に援農ボランティア技術取得講座を実施し、出席率により 15 人を東京都の「援農ボランティア」として認定しました。講座は実習（市民農業大学の実習を兼ねる）10 単位・座学 3 単位・体験学習（実務研修含む）3 単位を実施し、講座内容の充実を図りました。 平成 8～30 年度に（公財）東京都農林水産振興財団が認定した「援農ボランティア」のうち、派遣希望のあった 78 人を 21 戸の農家に派遣しました。
市民農園	全 5 農園 447 区画	市民が野菜の栽培を通じて土に親しむとともに、生産の喜びを味わい、市民相互の交流を深め豊かな余暇生活の実現を図りました。
農ウォーク	7 月実施 参加者 50 人	国分寺市農業委員会・国分寺市都市農政推進協議会・J A 東京むさし国分寺地区と共催で実施しました。
農業なんでも相談会	11 月に実施	農業祭開催時に「農業委員会コーナー」を設置し、農業なんでも相談を実施しました。また、花と野菜の種を来場者へ配布し、農業委員会活動の PR を行いました。
親子農業体験教室	5 月～8 月 7 回実施 参加者 7 組（14 人）	市内在住の小学生親子を対象に、市民農業大学修了生の指導により播種から収穫までを体験しました。
野菜作りの半日体験講習会	11 月 24 日 参加者 12 人	春作に向けた土作りと収穫を体験しました。

●ふるさと文化財課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座	6月6日～8月26日 全7回 参加者 11人	史跡ガイド・文化財普及・文化財調査の3部門のボランティアを募集し、国分寺市の歴史と文化財の保護、ボランティアの活動等についての講義と実習を実施
市民歴史講座	6月20日、7月2・17日、8月1日 参加者 4人	ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座の座学部分を市民歴史講座として希望者に聴講生として公開
市内文化財めぐり	10月10日 参加者 29人	国分寺市の国指定重要文化財「木造薬師如来坐像」の御開帳に合わせ、史跡武蔵国分寺跡周辺をふるさと文化財課学芸員が案内。都立殿ヶ谷戸庭園では、庭園職員が解説。国分寺市観光協会と共催で実施（東京文化財ウィーク参加事業）
現地説明会	11月4日 参加者 256人	史跡ガイドボランティアによる史跡武蔵国分寺跡での定点ガイドを実施（東京文化財ウィーク参加事業）
歴史講演会等	9月21日 参加者 189人	史跡武蔵国分寺跡の僧寺中枢地域が、平成23～30年度の整備工事を経て市立歴史公園として開園したことを記念し、その活用のあり方を検討するために、まちづくり、観光、ランドスケープデザイン等様々な分野の専門家を招いて、「国分寺市制施行55周年記念国指定史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡整備完了記念シンポジウム 史跡を使いたおせ！」を実施



市内文化財めぐりの様子
(国分寺楼門(市重要有形文化財)を見学中)



伽藍中枢部南辺区画施設(西元町)



●社会教育課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
青少年地域リーダー講習会	4月～1月 全8回 参加者 19人	子どもからお年寄りまでの橋渡し役となり、豊かな地域づくりに貢献できる青少年のリーダー(中学1年から大学生)を育てる事を目的として実施しました。
わんぱく学校	4月～12月 全10回 参加者 41人 ※新型コロナウイルス感染症対策のため1回中止(卒業式)。	体験学習や仲間との交流を通して、子どもたちの感受性・人間性を伸ばし、青少年リーダーとしての資質を育てることを目的として実施しました。 野外活動・ハンディキャップ学習・異世代交流等の体験学習・友好都市長野県飯山市での宿泊実習を実施しました。



青少年地域リーダー講習会 どんと焼きの準備



わんぱく学校 キャンプファイヤーの様子

●防災安全課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
市民防災 まちづくり学校 (通算39回目)	11回実施 受講生 26人 (修了者 22人)	防災都市づくりを総合的に進めるために、市民への防災まちづくりに関する教育、情報の提供を系統的・体系的に行って市民意識の高揚を図ると同時に、地域における市民防災の発展、あるいはまちづくりを自主的に推進するリーダーを養成することを目的としています。修了者数累計1,413人 令和元(平成31)年度修了者のうちから市民防災推進委員を19人認定しました。認定者数累計1,273人
協働 イザ!カエルキャラバン!	学校及び児童館・いずみホールで実施 参加者 871人	地域に密着し、子どもとその親世代を中心として防災に関心を高めてもらうため、イザ!カエルキャラバン!を第四小学校及び市内児童館5館・いずみホールにおいて開催し、その地域の防災まちづくり推進地区や自主防災組織、市民防災推進委員等がブース運営を担うことで地域コミュニティの活性化や世代間交流を図りました。
井戸端会議の実施	毎月1回実施 (11箇所)	地域社会における災害時の生活用水の確保、水と緑を通した都市環境の保全、市民のふれあいの場の確保等を目的として設置した23箇所(うち2箇所は民間井戸)について市民と協働して維持・管理を行いました。 11箇所の井戸について、周辺に住んでいる市民防災推進委員や住民を中心として井戸端会議及びポンプ管理、清掃、簡易水質検査を行い、同時に防災に関する情報交換等を行いました。

●環境対策課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
清掃センター見学	市内小学校9校 夏休み親子施設見学会 3回 その他の施設見学 計2回	家庭から出たごみが、どのように処理されるかを見学し、ごみの減量・分別・リサイクル意識の向上を図ることを目的としています。 清掃センター施設見学は、令和元（平成31）年度で終了し、リサイクルセンターが稼働してからの実施を予定しています。令和2年度以降、焼却施設の見学は、日野市、国分寺市、小金井市の3市で可燃ごみの共同処理をする浅川清流環境組合の可燃ごみ共同処理施設で実施する予定です。 市内小学校9校 977人 親子施設見学会3回 6人 環境まつりにおける工場見学会 65人 三多摩一つなり交流事業 中止により 0人
協働 喫煙マナーアップキャンペーン	毎月の第3火曜日	毎月第3火曜日に国分寺駅において、商店会、東京経済大学、関係団体等と協働でポイ捨ての防止及び路上喫煙に関する規制の啓発等、マナーアップキャンペーンを実施しました。
協働 クリーン運動	11月10日（日） 参加者 3,315人	国分寺市民クリーン運動実行委員会を主体に、自治会、老人会、各種団体等と連携し、ボランティア精神に基づいて自主的に清掃活動を行い、地域環境の向上を図ることを目的としています。 昭和51年に始まった国分寺市民クリーン運動も70回を数え、市民の間に定着し、11月に公共の場所での一斉清掃を実施しました。 平成27年度からひとりでも多くの市民に参加してもらうため、自治会・町内会など団体に加えて、各種団体に加入していない方やマンションの管理組合などに対しても参加を呼びかけました。



市内の小学生が清掃センターの焼却炉を見学中



クリーン運動の様子

●ごみ減量推進課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
協働 3R講座	6月～11月 全6回 受講者 20人	国分寺市のごみ処理，リサイクルの現状と処理について理解をして頂き，市民と行政の役割分担を明確にして，協働して地域のごみ問題を解決するボランティアリーダーの育成を目的として3R講座を実施しました。 3R講座の修了者のうち8人を，国分寺市廃棄物減量等推進委員に委嘱しました。
協働 国分寺環境まつり	12月1日 来場者 約1,600人	市民，商工並びに農業者，行政が一体となり，ごみの減量及び資源の再利用化を考え，環境と調和したリサイクル型都市の形成を目指す市民イベントとして，市民の実行委員会形式で開催しました。
ごみの分別・ 出し方の啓発	分別相談・体験等での啓発 21回	臨時拠点収集・分別よろず相談所を実施しました。
	イベント 11回	市民が参加するイベントで，ごみの分け方・出し方を詳細に説明しました。



3R 講座の様子(施設見学)



国分寺環境まつりの様子(ステージで国分寺市環境アドバイザー林家まる子・カレー子氏による環境漫才の披露)

●健康推進課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
食育講座	6月8日 参加者 28人 7月25日 参加者 28人 11月14日 参加者 20人	既存の親子食育講座2回，大人を対象に「天平メニュー・国分寺ごはん」講座を実施しました。 「親子で作る料理体験会 おいしく作って食べよう」(6月8日) 「親子でクッキング体験会 おいしくおやつを作ろう」(7月25日) 「天平メニュー・国分寺ごはん 昔の食生活とバランスのいい食事」(11月14日)
	4回実施 参加者 73人	食育に関する出前講座を子どもから高齢者を対象に実施しました。

●公民館事業		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
本多公民館	環境講座 1月 1回 参加者 6人	小平市ふれあい下水道館に行き、下水道の役割や水環境の大切さをさまざまな資料や展示物で学ぶことができました。たとえば汚水を綺麗にする生きた微生物を、顕微鏡を通したモニターで見ることができ、また、実際に使われている下水道管（地下25メートル）の中に入り、その様子を見ることができ貴重な体験となりました。
恋ヶ窪公民館	自然講座「自然に触れる 網代編み」 10月 1回 参加者 19人	樹皮を編むことを通して、自らの環境への意識や興味を高めてもらうとともに、学びを通じた市民同士の交流を体感する場となりました。 自然を通じ新たな地域コミュニティ形成を目指しました。
光公民館	野外講座 「学芸の森と武蔵野台地・ハケの歴史」 6月 全2回 延べ参加者 50人	近世の新田開発や戦時中の軍事研究所、戦後の都市化という歴史をたどった東京学芸大学周辺の自然と地域変化を学びました。
もとまち公民館	環境・自然をテーマにした学習会 「恋ヶ窪分水の自然について」 ～市内に残る玉川上水の分水～ 5月 全2回 延べ参加者 42人	野川源流の遊水地がある国分寺村と恋ヶ窪村以外は享保年間以降に開拓されました。玉川上水から分水され、国分寺市の新田開発に重要な役割を果たした恋ヶ窪分水や砂川分水についての理解を深め、自然・環境を大事にし、その保存・維持について考える契機としました。砂川分水・恋ヶ窪分水の自然や環境について講義と散策を通して学びました。
並木公民館	農業体験講座 (並木ファーマーズ) 4月～9月 全47回 参加者 20人 延べ 574人 9月～3月 全49回 参加者 18人 延べ 483人	地元の農家の方の協力・実技指導を得ながら約40種類の作物を育て、収穫をしました。 この事業を通して、地域理解と都市型農業について考える機会となりました。 その他、参加者同士の交流の場、公民館事業へ参加することにより、地域社会とのつながりを深めることにもつながりました。
	子ども農業体験講座 5～11月 全10回 参加者 14人 延べ 108人	毎回、前半は野菜や作業などについて話を聞き、その後、畑へ行って種まきや苗の植え付け、野菜の収穫などを行いました。その後当日の作業や気づいた点などを「野菜日記」にまとめました。 講座を通して、地域や環境に関心を持つきっかけとなりました。 また、農業体験講座の参加者が指導にあたり、地域の大人と子どもが異世代で交流する機会にもつながりました。



環境・自然をテーマにした学習会
「恋ヶ窪分水の自然について」
(もとまち公民館)



子ども農業体験講座「じゃがいもの収穫」
(並木公民館)

●学校指導課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
授業における環境学習・清掃センターの見学	市内の10小学校	社会科副読本「わたしたちの国分寺」には、くらしとごみの単元があり、ごみの出し方、行方、量、再利用等について調べました。また、清掃センターの見学を行いました。
科学教室の開催	5年生コース (32回) 参加者 105人 6年生コース (31回) 参加者 47人	5年生コースでは「光の科学」「大気の科学」「水の科学」を、6年生コースでは「植物の科学」「土の科学」「電気の科学」を取り上げ、観察や実験を行いました。
宇宙の学校の開催	キッズコース 参加者 309組 ファンダメンタルコース 参加者 106人	キッズコース 5歳児から小学2年生を対象 ファンダメンタルコース 小学3・4年生を対象 配布する冊子を用いた学習とスクーリングにより実施しました。配布した科学冊子をもとに、各自が家庭で学習を進め、スクーリングでは参加者が協力しながら実験を行いました。
学童体験農園	3校(6小・8小・10小)で実施	農家の指導を受けながら、土づくり、種まきから収穫までの一連の作業を通して、児童に勤労の尊さや喜び、成就感を実感させるとともに協調性を養うことができました。



科学教室自然観察会の様子



●交通対策課		
事業名	実施日・参加者等	事業内容・目的等
協働 駅前放置自転車クリーンキャンペーン	10月22日～10月31日	キャンペーン期間中は、放置自転車の撤去活動を強化するとともに、10月28日には国分寺駅前にて、各種団体のご協力を得て、啓発用ティッシュ配布とともに放置自転車のマナー向上を呼びかける駅頭広報活動を行いました。